

～病気に負けない体づくり！自然治癒力を上げよう～

カイロプラクティック
すまいる

大野城市錦町 2・5・20
Tel.092・593・6884

にこにこ通信

すまいる
筑紫野店

美しが丘南 3・10・6
Tel.092・926・8222

第 23 号 5 月 1 日

<http://sumairuchikusinoten.web.fc2.com>

紫外線の季節ですよ

博多どんたく港祭りが済めば、博多の町は初夏、薫風の季節は紫外線の季節でもあります。1年の中で最も紫外線量が多いと言われる5月、女性にとってシミが気になる季節です。女性と柔肌を持つ赤ちゃんにとって紫外線は大敵です。それなりの工夫を忘れず、こまめにお肌を見てください。

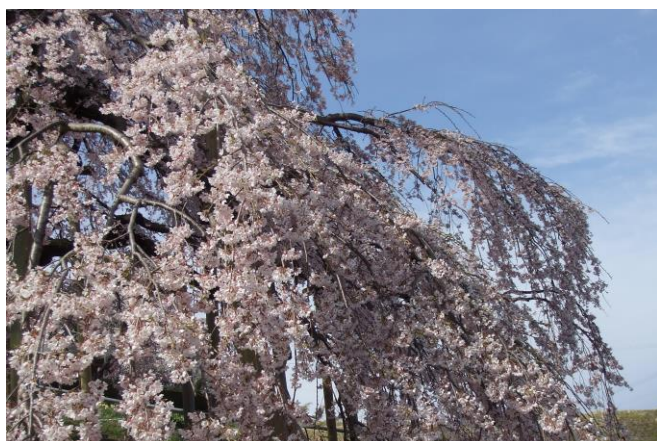
4月は桜前線が細長い日本を、北へ北へと広がって行きました。5月は北海道でも開花したとの情報に、日本は長くて面白いと心底思いました。

震災復興を祈る気持ちで、今年は東北へと私を駆り立て思い切って桜紀行を計画しました。



三春の滝桜(樹齢千年)

福島県 宮城県の桜観賞は感動を覚え千年の桜に言葉もなく、地元の皆様の温かい心に感謝するのみでした。



優美な枝垂れ桜



八重の桜(鶴ヶ城)

東北の日差しも強かったですね。

これからの季節、色の濃い野菜ピーマン、ブロッコリー完熟トマトなどたくさんとり入れてください。

忘れていけない物にサングラスがあります。シミ対策必需品です。運転や花のお手入れにサングラス、貴女の全身を守ります。

皆様に爽やかな風が吹きますように

東北の特産品

山形県の特産ですが、福島県で頑張る親子をご紹介します。
皆様ご存知の“さくらんぼ”

6月18日の出荷を控え、大変なご苦労をしてあるとのこと。
1年の中で猫の手も借りたい心境でしょう。

「菱沼健一さん・健司さん親子のさくらんぼ」

菱沼農園との初めての出会いは、2012年の春先の事。

震災からちょうど一年、「福島ガンバレ」

「東北ガンバレ」という空気の中でのことでした。

当時はどんなに腕の良い生産者でも、
なかなか売り先に困っている状況の中、菱沼さんから届いた
「さくらんぼ」の味に感動したことを今でも覚えています。

それから一年。

今年も菱沼農園さんのさくらんぼを販売する事は、
私達にとっても大変な喜びです。

「その果実のハリ、味わい、
この素晴らしいさくらんぼを
お客様に楽しんで頂きたい」

そう思える生産者が福島にいる事を、
是非多くの方に知ってほしいと思います。

さくらんぼにかける 愛情が違います

菱沼農園で育てるさくらんぼの特徴は、
有機堆肥を取り入れた豊かな土づくりから栽培し、
樹上で完熟させること。

健全な木と土、そしてそれを取り囲む大自然が、
今年もおいしいさくらんぼを育てています。

さくらんぼの出荷は6～7月のわずか20日程度の期間、
初夏の味覚、もぎたてのさくらんぼ「佐藤錦」を、
福島から直送でお届けいたします。